

考える場 特別企画
遺構と地域の未来を語り合う場

全4回
連続企画

ハイブリット開催!

写真：大熊町写真館

第2回 のこされた学校から 「記憶」をたどる

東日本大震災被災地などの各地で、災禍を後世に伝えるための遺構整備が行われており、大熊町の中間貯蔵施設内における施設でも、検討がはじまりました。「保存」か「解体」か単純な二択ではなく、より多様な意見や想いが共有されることを目指して、意見交換の機会として開催します。

遺構は、災禍の経験や教訓を伝える"メディア"としての役割が大きいというのが一般的なイメージ。しかし、原発事故後の様々な課題を抱える大熊町においては、震災前の暮らしや文化をのこすための場所になり得るのではという視点—今と未来の地域づくりのためにも、大きな役割を果たすのではないかという声も、町内外から聞こえています。

第2回は、石巻市震災遺構大川小学校で語り部をされている佐藤敏郎さんにをゲストにお招きします。震災前の日常をたどりながら未来を考える機会を提供する伝承活動や、震災遺構保存を経た地域の「今」についてご紹介いただきます。

どうぞお気軽にご参加ください!

第2回 ゲスト

佐藤敏郎さん (大川伝承の会)



日時

2025. 9. 6 土

時間

13:30~16:00 (13:00~受付)

※事前FW9:00~12:00

詳しくはお問い合わせください

場所

CREVAおおくま 1階 会議室
(大熊町大字下野上字大野116-5)

参加

参加費無料、要お申込
定員50名 (×切9/5)
オンライン参加も可!

今後のスケジュール

第3回 10/12(日)

13:30~16:00@CREVAおおくま

※9:00より事前FW予定



ゲスト：多賀俊介さん
(広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会)

第4回 11月未定

!調整中!

第1~3回の総括も込めて
シンポジウムを開催予定。

お申し込みは下記コードから (9月以降の申込みは調整中)

共催

一般社団法人大熊未来塾、おおくまふるさと塾

協力

福島大学 地域未来デザインセンター

後援

大熊町、大熊町教育委員会

問合せ

一般社団法人大熊未来塾 (担当：義岡)
☎ 080-1472-3763 ✉ okuma.future@gmail.com

9/6申込み

QR読み取りか、
メールにてお申込み
ください。



※本事業は、3.11メモリアルネットワーク基金助成事業として実施します。